

2022年度学校関係者評価報告書

学校法人聖心学園 サンタ・セシリア幼稚園

- 本園の教育理念 キリスト教精神に基づく喜びのある教育
- 教育目標
 - 元気に遊べる子
 - 礼儀正しく正直な子
 - よく見よく聞く子

今年度の保育について

2022年度は、コロナ禍で行事のコロナ以前と比べるとできない行事があったり、縮小して行う行事があったりした。

その中で子どもたちが主体的に活動できるように、保育者は言葉がけや環境づくりに努めていった。特に年長児では、できるだけ子どもたちが話し合いを行い、自分たちで考えて、主体的に活動するようにした。

その一つが運動会の学年別開催で年長はプログラム構成や司会を園児が進め、充実した会が持てた。

音楽会の持ち方も見直し、発表に重点を置くのではなく、子どもたちが楽しみながらいろいろな楽器に触れて、興味を持った楽器を担当し、合奏の楽しさを味わうようにした。

全てにおいて結果より過程を大切にした。

ただ、それにより、以前を知る保護者からは、レベルが落ちたように思われもした。そのため、2023年度は保育の様子、子どもたちが頑張っている様子を保護者に見ていただく機会を増やそうと考えている。

また、正課に体操、英語、リトミックを専門の教師にお願いして指導を受け、それぞれ成果を挙げている。

体操では、年齢に応じたマット、跳び箱、縄跳び、鉄棒、ボール等の指導を受けて、コロナ禍でとかく家にこもりがちなお子たちが、思いっきり体を動かし、体力をつけることができた。そして、ゲームへの取り組み方、ルールを守ること、忍耐力を養うことなど、園児に良い教育ができた。

英語はネイティブスピーカーと日本人による指導がなされ、英語に慣れ親しむだけでなく、国際感覚も身についたと思われる。

リトミックは、指導者が弾くピアノに合わせて体を動かし、リズム感を養うこともできた。

以上のような成果を得られたことから、来年度以降も引き続き外部講師にお願いする体操、英語、リトミックは続けていく予定である。

○保護者から

- ・丁寧な保育してくれてありがとうございました。
- ・外遊び等自由に遊べる時間が増えて楽しい園生活が送れました。
- ・行事についてはコロナ禍の中ご尽力いただきありがとうございました。来年度以降コロナが緩和されるということで、参加できなかった行事も参加できるようになると良いと思います。

- ・1年間本当にありがとうございました。親子共に初めての園生活がサンタ・セシリア幼稚園で良かったと思っております。
- ・今年度も充実した幼稚園生活を送ることができて親子共ども感謝しております。
- ・いつも温かく心穏やかな園生活ができているのも先生方のおかげと感謝しております。
- ・今年度も感染対策を行いながら、子ども達の為に最善を尽くしてくださりありがとうございました。
- ・先生方も保護者の方も温かく優しい方が多く、園内が常に穏やかな空気が流れていると感じました。
- ・コロナ禍で中止されていた行事の再開、保育参観など状況次第で復活できることを願っています。
- ・先生方には感謝しかございません。登園時、母子分離に手間取るときもありましたが、先生の力添えもあり。立派に乗り越え、一日も休むことなく楽しい一年間を過ごすことができました。来年度も、一日一日を大切に、親子共々成長していけるよう楽しく元気に頑張っていきたいと思っております。

学校関係者からのアドバイス

港区スクールカウンセラー菊池幸子先生から

世の中には、本質的に変わらないものと、年々変化していくもの、変化しなければならないものがあることを理解していくことが大切と考えます。

本園の保護者の皆様方がこんなにも沢山の感謝のことば、ご意見を述べていることに驚きました。このご意見は、先生方と園の将来を考えていこうとする表れだと思います。また、一つ一つのご意見を拝読させていただき、保護者の実態に即した希望や意見だと思えます。保護者全員のご希望に添ったようにはできませんが、最大公約数として考えていくことが必要と考えます。

基本的なことを申し上げるとすれば、園児が楽しく、明るく、元気に過ごすことを目標において、経営していくことが、園の進むべき方向だと考えます。保護者の考えは様々なご意見がございます。見方・考え方がるのが当然です。

子ども主体の保育に、子どもたちとの話し合いを通して、子どもの意見を吸い上げて教育活動を実践なされたこと、誠に素晴らしいことと存じます。昨年度も、音楽活動において、1年を通して子どもたちが楽しめる音楽活動を行ってきましたが、更にご家庭にその様子を配信、保育自由参観日を設け、日常の様子を知っていただくことはとても有意義であると思えます。これこそが、園と保護者が一体となって進むべき道かと思えます。

「2022年度幼稚園教師自己評価 回答」については、どの項目についてもA大変良い、B良いで、日々、積極的に子どもに関わっている実践の良さが表れていると捉えました。5項目の、「教師としての資質」については、活発な話し合いや意見交流が深まることを期待しております。

令和5年4月16日

菊池 幸子

学校法人聖心学園 幼稚園担当理事 相馬たゑ子先生から

*保育アンケートでほとんど「今のままで良い」という園への評価が高く、信頼されている園だと思いました。

*預かり保育は出来れば4月直ぐに、3月末まで、長期休暇等の要望があり昨今、仕事を持つ方も多く出てきていると思いました。園の準備、修理、清掃もあり中々難しいと思いますが、今年度から夏のお盆休みも導入とあり、徐々に取り入れて行くことになるのでしょうか。

*セシリア音楽会レベルが下がった等ありましたが、園長先生のご意見のように、子どもが主体的にかかわりその成長を発信することで子どもの成長が見られる、変わっていく様子は是非していただきたいと思いました。

発表の場も大事ですが、何よりその過程が一番大事であり、子どもが、考え、頑張り、楽しんだかであり、保育者自身も同じだと思います。何が基準のレベルなのでしょうか？と思いました。

目に見える事と見えない事、見える事のみが大切ではないように思います。

*保育者自身の評価も高く皆様が頑張っていると思います。

今年度もまだ、全面的にコロナが大丈夫とは、思いませんが、コロナ禍での経験を生かして、「良い保育をしている園」と評価していただけますようにと思います。

幼稚園担当理事 相馬たゑ子

聖心学園幼稚園園長 柴崎公子先生より

・貴園の保育については、ほぼ全ての保護者の「今のままで良い」という回答に集約されていると思います。

・教員のみなさんの「研修への参加」については近年、幼保問わず多くの園で課題になっています。改善策を見つけないものは、ありません。

聖心学園幼稚園 園長柴崎公子

2022年度 外部講師指導の実績報告

【英語】

実施回数 20回/年

活動内容

外国人のネイティブスピーカーと日本人講師によるレッスン

挨拶から始まり、天気、曜日、季節等簡単な英語を学ぶ。

絵を見たり、振りを付けたりで繰り返し唱えて覚えることができる。

季節に合わせた英語の歌を歌ったり、ゲームをしたりで楽しみながら、異文化にも触れることができる。

成果

日常会話ができるようになり、海外の人と物おじせずコミュニケーションをとり、異文化を理解することができるようになっている。

【体操】

実施回数 36回/年

活動内容

ボールを使った運動、マット運動、鉄棒、縄跳び等、年齢に合わせた運動を専門の先生に指導していただき、技術を習得している。

成果

運動があまり好きでない子どもも、友達と一緒にすることで運動の楽しさを味わい、能力を磨くことができる。

もともと運動が得意な子どもは、さらに運動能力を引き上げることができる。

【リトミック】

実施回数 20回/年

活動内容

指導者のピアノの演奏に合わせて体を動かし、音の聞き分け、リズム感を養う。

成果

ピアノ等楽器を習っていない子どもも、楽器の音に耳を澄ませ、音を聞き分けたり、音によって体を動かしたりしながら、音楽の要素、メロディ、リズムを体感することができるようになった。